

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

心豊かで、たくましく、実践力のある子どもを育てる

— ふかく考える子　あたたかみのある子　がんばりのきく子　—

(2) 経営の方針

「生きる力」をもった児童の育成をめざし、「知・徳・体」の指導の充実と向上を図る。その実現に向け、自分を取りまく他者と豊かにかかわり、よりよく生きようとする心が育つよう指導する。教職員は、共通理解と協力のもと、使命感と責任感をもった教育を行う。

(3) 本年度の重点目標

めざす子ども像　夢をもち、将来を豊かにたくましく拓く子ども

① 学ぶ力・学力を向上させる

ア 日々の授業を充実する

- ・明確な目標（何をできるようにするか）をもって授業を行う。
- ・基礎的基本的な能力（非認知能力も）や将来必要とされる学力を身につける指導を行う。

イ 研修を充実する

- ・自主公開授業や自主研究会を充実する。
- ・学力学習状況調査等を分析し、児童が将来必要とされる学力の育成について研修する。

ウ 分かる授業を支える構え（教員・児童）や約束・習慣の指導、学級経営を充実する

- ・児童の授業に臨む構えや約束（チャイム着席、用具の準備等）を示し、指導を行う。

② 豊かでたくましい心を培う

ア 道徳教育を充実する。（道徳科の授業、行事、委員会活動、部活動、日常生活等）

イ あいさつ運動を充実する。

- ・児童会、委員会、家庭・地域との連携等で取り組み実践意欲を高める。

ウ 時間を守る指導を行う。

- ・チャイム着席の指導、教員が授業時間の開始時刻を守る姿勢を見せる。

エ 一生懸命に清掃をする児童を育てる。

- ・「なかよし・もくもく清掃週間」の実施、班長会の開催、道徳の指導等を行う。

③ 体力・健康・安全について考える力・実践意欲を高める

ア 体育における運動量の確保と楽しさ・喜びを体感できる活動を行う。

イ 自分の健康や安全を考え、判断し、行動する力を育む。

ウ 生活習慣、給食の指導を通して、食育について考える力を育む。

④ 家庭・地域（各種団体）との連携

ア 上の①～③の取組を、家庭・地域と連携して行う。

イ ウェブページ、学校・学年だより等により、家庭や地域に情報提供・情報発信を行う。

ウ 児童・教職員が、地域の諸団体やPTAの活動に積極的に参加する。

⑤ 多忙化解消への取組

ア 行事や活動の内容を見直す。

イ 校務分掌を複数人で担当し、一人が大きな役割を担わないようにする。

ウ 4月から8月までを朝の部活動を行わない期間とする。